

令和2年1月27日

保護者様

横瀬町立横瀬中学校  
校長 新井 清人

### 生徒数及び教員数減少に伴う部活動募集停止と部名変更のお知らせ

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、部活動数の削減については、横中だより（令和元年10月号 裏面参照）で、その趣旨を皆さまにお知らせしました。その後、部活動検討委員会、職員会議など、様々な観点から協議を重ね、その大枠と今後の方向性をとりまとめる時期になりました。

募集停止対象となる部活動については、下記の内容を参考に協議を進めてきました。

- ・活動状況、部員数、指導者
- ・校内活動場所、男女人数のバランス
- ・校区内のスポーツ少年団活動への参加状況 等
- ・生徒数、教員定数の推移見込み
- ・競技経験、指導経験のある教員の状況

つきましては、下記のとおり、**令和3年4月より計画的に、募集停止と部名変更を行います。**その対象となる部に所属する生徒、保護者、顧問、外部指導関係者で、募集停止等になることを望む人はおりません。

さらに、将来入部を希望していた小学生やその保護者の気持ちも考えれば、断腸の思いですが、持続可能な部活動の運営と活性化に向けて、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 記

#### ○募集停止対象となる部活動のスケジュール

部活動名	令和2年度 (現6年生)	令和3年度 (現5年生)	令和4年度 (現4年生)	令和5年度 (現3年生)
ソフトテニス部男子	募集	募集停止	3年引退後 活動停止	廃部
バレーボール部女子	募集	募集停止	3年引退後 活動停止	廃部
柔道部男女	募集	募集停止	3年引退後 活動停止	廃部
吹奏楽部	募集	募集停止	3年引退後 活動停止	
音楽部			募集開始	

※令和2年度（現6年生）に入学する生徒のうち、ソフトテニス部男子・バレーボール部女子・柔道部男女・吹奏楽部に入部希望をする生徒は、令和3年度（現5年生）より募集停止となることを理解し、納得した上での入部は認めます。（上記のスケジュール表参照）

※今後、募集停止とする部（ソフトテニス・柔道）に関わる生徒で、大会への出場希望者は、中体連の規定等により、別途協議の上、出場を許可します。（個人戦のみ）

※令和3年度（現5年生）からは、新たに音楽部として募集し、活動内容は生徒の希望や実態に合わせて決定する予定です。

## 『持続可能な部活動の運営に向けて』

校長 新井 清人

今年の体育祭は暑くも無く、体育祭には絶好の天候の中、9月14日（土）に実施しました。『絆！ ～バトンを繋ぎ新たな道を切り開け～』というスローガンのもと、赤団・青団・黄団も互角の勝負を展開してくれました。生徒たちは声をかけ合いながら、心を通わせ全力を出し切ったと思います。

ご来賓や保護者・地域の方々には、長時間にわたって生徒の競技や演技にご声援をいただき、心より感謝申し上げます。またPTA本部役員の皆様には、係分担の他にテントの撤去までお手伝いを頂き、ありがとうございました。

さて、学校の「部活動」は、歴史や伝統、地域の願いなどとも重なり、顧問（教員）、保護者や外部指導者の方の協力によって、地域スポーツや地域文化活動の拠点としての役割を果たしてきました。

部活動は、学校の教育課程には含まれない活動ですが、自主的・自発的な運動や文化活動を通して、子どもたちの自立や社会性・協調性の向上、そして大人への成長など、授業だけでは学べない体験的で実践的な活動の場として位置づけ、顧問等の指導により、活動を続けています。

しかし、生徒数減少により、種目ごとの部員の数も減少し、団体種目として必要な人数がそろわない種目もできるなど、部としての活動に支障が出ている現状があります。

そこで、本校では平成29年度に生徒数減少に伴う部活動数の検討を行い、平成30年より「生徒数減少に伴う部活動数の検討（縮減）について」というお知らせを配布しました。

その結果、平成30年度末にサッカー部を休部しました。

さらに生徒数減少の影響で、本校では昨年度より学級数が1学級減となり、教員も2名減となりました。今後、横瀬小学校の児童数の6年間の推移を見ても学級数の増加は見込めず、令和5年度より本校の生徒数は、200名を切る見込です。

このような現状において、現在設置している部活動数（12部）と顧問を受け持つ教員数（14名）の不均衡が生じ、顧問の掛け持ちの教員（正顧問が他の部の副顧問を兼ねる）が大半を占めており、部員の安全確保や大会引率をはじめ、部の運営など様々な障害が出てきています。

本校の限られた条件・時間、生徒数、教員数の中で、部活動本来の目的を見失うことなく、将来にわたって安定した活動ができるよう部活動の運営について、さらに見直す必要が出てきました。将来的には生徒の安全を確保し、顧問への過剰な負担を少しでも軽くするために各部活動を複数の教員で担当し、運営する体制づくりが必要だと考えています。

そこで、令和2年度から新入生の入部希望状況により、第2次の部活動数の削減に踏み切ることとし、今年度中に具体的な検討に入りたいと考えています。

学校が多彩な種目を設定し、生徒に自分の適性や希望に添った部活動を選ばせてやりたいという気持ちは、保護者や地域のスポーツ団体関係者のみなさんと同じです。しかし、それをこれまでと同じ体制で、実現させることが困難な状況にあることをご理解して頂き、ご協力をお願いいたします。

（10月号学校だより巻頭言）